

親愛なる無名の映画監督・河野優司の

ドキュメンタリー映画『2887』 追悼上映会のお知らせ

3月20日、彼の「明大映研」時代の仲間のひとりからの訃報を聞き、一瞬キョトンとし、次の瞬間は別の感慨が頭をグルッとめぐった。

安倍長期政権 2887日を正面から検証・告発する素人監督とは思えない出来映えに仕上がった。安倍政治以上の危険性を増している菅・岸田の後継政権。さてこれから全国上映を展開しようとしていた矢先の余りにも無残な運命。彼の悔しさを共有する仲間のひとりとしてしきりに思う。

良かれと思えばなりふり構わずひたすらまっしぐらに突進する彼の性格に、ご家族を含めどれだけ多くの人たちが悩まされたことだろう。しかし、それ位の器量がないと一本の映画の完成は無理なのではないかと、彼の仕事を傍らで見て、伝え聞いてそう思う。

そして今更の如く思うのだ。人はいなくなって初めて、その存在の貴重さを知るということ。彼の死は、そんな思いを抱かせている。

せめて遺作の上映により、心より追悼の意を表したいと切に願う。

2022年4月30日

「映画で社会を読む会」よびかけ人を代表して

横浜市立高等学校教職員組合 元執行委員長 飯田 洋

河野さんの映画「2887」追悼上映会

2022年6月11日(土) 13:00~16:00 神奈川公会堂講堂

12:30に開場 映画は13:30頃から 参加費 500円

JR東神奈川駅西口 イオンの隣

クラウドファンディングの応募の方々に、後日DVDの送付を予定しています。

2万円以上のかた『2887』 5000円以上の方『壊すな憲法 守ろう九条』